

フィリピン

全国通信施設事業



本事業により建設された電話交換局

[借款概要]

承諾額/実行額	21,752百万円 / 16,346百万円
借款契約調印	1990年2月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1997年3月

[事業概要]

全国通信計画に基づきルソン島中・南部（Region / / ）の電話網を整備し、通信事情の改善を図るもの。

[評価結果]

本事業は、ルソン島北部のRegion / を対象とした地方通信施設拡充事業（第1期借款1981年度、第2期借款87年度）に続いて、既往事業の対象を除く地域（Region / / ）において、71カ所の市内交換局56,950回線、7カ所の市外交換局4,500回線の新設、伝送路システム（基幹伝送路マイクロ27区間、光ファイバー3区間等）及び加入者ケーブルの設置を実施した。

通信機器の据付は1991年から96年末にかけて行われたが、対象地域（Region ~ ）の電話密度（100人当り回線数）は平均で1993年の0.62から96年3.20、2000年7.31へと大幅に上昇しており、本事業は同地域の電話需要への対応に寄与したものと見られる。

また、本評価において地域住民へのインタビュー調査を実施したところ、回答者の約7割が本事業の後に自宅に電話をひき、大半が生活環境の改善の面で効果があったとしている。

なお、通信施設の運営は、1993年以降、民間企業（DIGITEL社）へのリースを通じて行われているが、同社の財務、体制、技術力等を含め、今後の維持管理に特段の問題は認められない。